

旅行取扱状況の概観（平成19年2月分）

海外旅行の取扱額では、団体旅行は一般団体旅行、学生団体旅行が共に取り扱い好調で、合計で前年を大きく上回り前月に続いている前年比プラスと好調に推移した。企画旅行ではホリデイが好調を維持し、その他企画旅行も取り扱いを大きく増加させ、合計では5ヶ月連続の前年比プラスと好調を維持した。個人旅行も個人需要・法人需要を取り込み、合計で前年実績をオーバーし5ヶ月ぶりに前年実績を上回った。各商品とも好調であったため、海外旅行合計は前年比110.6%と前年実績を上回り、10ヶ月連続の前年比プラスと好調に推移した。

国内旅行の取扱額では、団体旅行は学生団体が取り扱い低調で前年実績に達しなかったが、一般団体が取り扱いを増加させ前年実績を大きく超えたため、合計では前年実績をオーバーし13ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。企画旅行は、メイト・その他企画旅行が共に2桁増の好調により、合計は大幅に前年実績を超えた。個人旅行は、JR券、航空券、宿泊券、観光券等のクーポン類の取り扱いが好調で、個人旅行計は前月に続いている前年比プラスと好調に推移した。国内旅行も各商品が全て前年をオーバーしたため、国内旅行合計は前年比111.4%と大きく前年を上回り前月に続いている前年比プラスと好調に推移した。

国際旅行は個人旅行の取り扱い好調が続き、前年比134.7%と大幅に前年実績を上回り、4ヶ月連続の前年比プラスと好調を維持した。

2月の総取扱額は、前月に続いて国内旅行、海外旅行、国際旅行が全て前年実績を上回り、前年比111.3%と好調な取り扱いであった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、団体件数が増加し前月に続いている前年比プラスと好調。学生団体も、前年取扱不振の反動があるものの、修学旅行、研修旅行等が増加し、大きく前年実績を上回った。団体の方面別取り扱いでは、依然好調の続く中国を筆頭に、韓国、台湾の取り扱いが目立った。

(2) 企画旅行

ホリデイは取扱額前年比109.5%、取扱人数前年比102.5%と、取扱額、取扱人数共に前年実績を上回り取り扱い好調を維持している。ホリデイの方面別取り扱いでは、中国、韓国、台湾、および東アジアのリゾート地が好調であった。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は取り扱いが増加し、さらに大型団体の取り扱いもあって大きく前年実績上回り、昨年1月以来の前年比プラス。学生団体は、校外学習等の取り扱いが伸び悩み前年実績に届かず、5ヶ月連続の前年比マイナスと低迷している。

(2) 企画旅行

メイトは、各方面とも取り扱い好調で、取扱額前年比116.6%、取扱人数前年比114.7%と共に前年実績を大きく上回った。商品別の状況は、北海道、九州、沖縄および東京地区商品、関西地区商品が好調で、近場商品も前年を大幅に上回り好調であった。

(以上)